

東松島市立野蒜小学校災害復旧実施設計業務委託 公募型プロポーザル審査結果の公表について

平成26年4月25日

宮城県東松島市長 阿部秀保

平成26年3月28日に東松島市公告第27号で公告した、標記の公募型プロポーザルについて、審査結果を公表します。

1. 最優秀提案者 株式会社 盛総合設計 (評価総点数 1,601 点)

2. 最優秀提案者の評価点

第一次審査(第3位)			第二次審査(第1位)		
評価項目	総配点	総得点		総配点	総得点
1. 事務所の実力	200	127	1. 取り組み意欲	200	156
2. 担当チームの能力	400	287	2. 業務の理解度	200	160
3. 業務実施方針等の考え方	200	138	3. 提案内容	800	597
4. 技術提案に向けた方針	200	136			
小計	1000	688		1200	913
総合点数(第1位)					1,601

3. 最優秀提案者選定の理由[審査委員長講評]

今回のプロポーザルにおいては、公立小学校としての安全性や機能性の確保を前提とした上で、震災に伴う諸課題の解決を図ることを最大のテーマとしておりました。

東日本大震災により被災した子供たちの心のケア、集団移転等に伴うコミュニティの再構築の拠点として「森の学校」の実現に向けて応募いただきました6者からご提案をいただき審査をいたしました。

第一次審査においては、応募者の実績等について評価を行いました。いずれも実力、実績を兼ね備えた応募者であり、ほぼ差のない評価であったため、全応募者に対して技術提案審査への参加を要請いたしました。

第二次審査において、最優秀提案を高く評価したポイントの第1点目は、基本構想・基本計画・基本設計までの遷移と課題を整理し、これらを踏まえた上での提案であったことにより、取り組み意欲及び業務理解度について各審査委員ともに高評価となりました。

また、提案内容については、各者とも、それぞれの個性と強みを活かした良い提案であり上位の評価点も僅差でありましたが、日常の学校運営と森の学校の活動及びコスト意識のバランスの良さが高い評価点獲得となりました。

最後に、厳しいスケジュールのなか、本プロポーザルに熱意をもってご参加いただき、貴

重なる提案をいただいた全ての参加者の皆様に、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

4.参加者の名称(参加表明受付順)

- (1)株式会社 久慈設計 仙台支社
- (2)株式会社 鈴木弘人設計事務所
- (3)楠山・UAPP 設計共同体 (代表企業/株式会社 楠山設計)
- (4)株式会社 盛総合設計
- (5)株式会社 松下設計 仙台支社
- (6)株式会社 針生承一建築研究所

5.審査委員会委員

番号	役職	氏名	備考
1	教育長	工藤昌明	※審査委員長
2	教育次長	小山 修	
3	教育総務課長	吉田悦郎	
4	復興政策課長	高橋宗也	
5	建設課長	菅原 博	
6	学識経験者	長澤 悟	元東洋大学教授 森の学校推進アドバイザー
7	学識経験者	風見正三	宮城大学教授 森の学校推進アドバイザー
8	学識経験者	近藤 卓	千葉大学非常勤講師 森の学校推進アドバイザー
9	市長が必要と認めるもの	内海喜政	学校建設計画検討委員会副委員長
10	市長が必要と認めるもの	小山直美	東松島市参与 (教育・市民協働担当)